

1.2 河川に生息する生物の確認状況（河川の自然度・健全度）

ここでは河川や河口環境と関わりの深い種や、私たちにとって馴染み深いサケなどの確認状況を整理しました。なお、1～3 巡目調査との比較は、調査の範囲や時期、回数などの条件が必ずしも同一ではありません。また、移動性の高い種や、限られた季節にしかみられない種もあることから、比較結果は同一河川での消長を示すものではなく、全国的な傾向を把握するための参考です。

【各河川の主要な魚類】

（魚類調査）

● ウグイ属やオイカワ属の魚類を多くの河川で主要な構成種として確認

対象河川の魚類の種構成を把握するために、捕獲個体数の多い魚類を整理しました。

今回とりまとめを行った 43 河川をみると、関東地方以北では、ウグイなどのウグイ属魚類の割合が、関東地方以南ではオイカワ、カワムツなどのオイカワ属魚類の割合が高い河川が多くみられました。
(資料掲載: 1-12ページ)

対象河川の魚類の種構成を把握するために、捕獲個体数の多い魚類を整理しました。多く捕獲された魚種は、日本の河川環境の現況を表現しているものと推測されます。但し、採集方法により捕獲されている魚種や成長段階が異なること、群をなしている稚魚等が大量に捕獲されることがあり、各河川の種構成を表現しない場合があります。

今回とりまとめを行った 43 河川をみると、関東地方以北では、ウグイなどのウグイ属魚類の割合が、関東地方以南ではオイカワ、カワムツなどのオイカワ属魚類の割合が高い河川が多くみられました。

国外外来種の確認状況をみると、国外外来種が捕獲個体数の上位 5 位内に入った河川は、中部地方の高浜川（ブルーギル、カダヤシ）、近畿地方の淀川（瀬田川）（ブルーギル、オオクチバス（ブラックバス））、淀川（草津川）（ブルーギル、オオクチバス（ブラックバス））、大津川（ブルーギル）でした。

このような国外外来種の捕獲個体数の割合が大きい河川では、本来の魚類の種構成が変化してしまう可能性があることから、今後もモニタリングを継続して行う必要があると考えられます。

捕獲個体数の多い魚類一覧

地方	水系名(河川名)	1位	頻度	2位	頻度	3位	頻度	4位	頻度	5位	頻度
北海道	渚滑川	ウグイ属	49.9%	フクドジョウ	26.4%	エゾウグイ	5.7%	カワヤツメ属	4.4%	エゾハナカジカ	2.8%
	鶴川	ウグイ属	32.4%	エゾウグイ	18.3%	フクドジョウ	14.2%	アシシロハゼ	10.8%	ジュズカケハゼ	4.5%
	十勝川	ウグイ属	30.2%	フクドジョウ	17.5%	ウグイ	14.2%	エゾウグイ	13.6%	ジュズカケハゼ	6.9%
東北	岩木川	アブラハヤ	27.1%	ウグイ	13.5%	モツゴ	5.5%	ウキゴリ属	5.0%	ピリシゴ	4.9%
	名取川	アブラハヤ	12.9%	ヌマチチブ	12.7%	ウグイ	11.9%	ウグイ属	7.4%	アユ	7.3%
	最上川	ウグイ	32.1%	アブラハヤ	14.2%	オイカワ	9.6%	ギンブナ	8.2%	ニゴイ	7.8%
	赤川	ウグイ	40.7%	ニゴイ	31.0%	アブラハヤ	3.6%	オイカワ	3.1%	アユ	2.9%
	日向川 ※	アユ	16.7%	ウグイ	13.3%	ヤマメ	11.6%	アブラハヤ	11.2%	アシシロハゼ	9.7%
関東	荒川	マハゼ	36.4%	オイカワ	10.5%	モツゴ	10.2%	アシシロハゼ	6.8%	アブラハヤ	6.7%
	相模川	ヌマチチブ	14.5%	オイカワ	12.2%	ウグイ	11.0%	アユ	10.3%	アブラハヤ	9.2%
北陸	信濃川	スズキ	49.6%	ウグイ	11.5%	オイカワ	8.2%	モツゴ	4.9%	ウグイ属	4.4%
	黒部川	ヒメドジョウ	26.4%	ウグイ	19.7%	ヤマメ	10.9%	アユ	8.2%	スミウキゴリ	5.3%
	庄川	ウグイ	32.1%	ヌマチチブ	7.6%	ヤマメ	7.3%	マハゼ	6.2%	オイカワ	4.4%
中部	天竜川	ウグイ	28.6%	オイカワ	11.5%	カワヨシノボリ	8.8%	カワムツ	7.3%	アユ	4.8%
	宮川	オイカワ	15.9%	カワムツ	9.4%	カワヨシノボリ	8.5%	メダカ	7.4%	ヌマチチブ	6.5%
	太田川 ※	アユ	45.5%	カタクチイワシ	37.8%	オイカワ	5.2%	カワムツ	5.2%	カワヨシノボリ	1.8%
	高浜川 ※	フナ属	34.0%	ブルーギル	22.0%	コウライモロコ	11.1%	ヌマチチブ	7.3%	カダヤシ	5.5%
	志登茂川 ※	オイカワ	39.9%	マハゼ	12.3%	トウヨシノボリ	9.7%	ボラ	7.7%	ゴクラクハゼ	5.0%
近畿	淀川(瀬田川)	ブルーギル	42.4%	オオクチバス(ブラックバス)	16.4%	カネヒラ	13.0%	カワムツ	11.2%	カワヨシノボリ	3.6%
	淀川(草津川)	オイカワ	29.9%	ブルーギル	18.4%	アユ	13.9%	オオクチバス(ブラックバス)	10.9%	フナ属	5.8%
	淀川(猪名川)	オイカワ	29.6%	メダカ	14.6%	カワヨシノボリ	9.6%	コウライモロコ	9.1%	ニゴイ属	5.5%
	淀川(木津川)	カワヨシノボリ	23.7%	カワムツ	21.2%	タモロコ	9.7%	オイカワ	9.6%	シマドジョウ	5.7%
	淀川(野洲川)	オイカワ	37.1%	カワヨシノボリ	20.3%	アユ	10.5%	トウヨシノボリ	9.2%	ヌマチチブ	5.3%
	淀川(淀川)	マハゼ	40.4%	オイカワ	10.1%	スズキ	9.5%	コウライモロコ	7.9%	カワヨシノボリ	5.4%
	淀川(茨木川) △	カワムツ	38.9%	オイカワ	20.9%	スズモロコ属	17.6%	カワヨシノボリ	6.0%	ボラ	4.0%
	大和川 △	オイカワ	53.4%	モツゴ	13.5%	ギンブナ	10.7%	コイ	5.6%	タモロコ	4.5%
	加古川	コウライモロコ	44.1%	オイカワ	20.9%	コウライニゴイ	3.3%	ボラ科	2.8%	ピリシゴ	2.6%
	揖保川	オイカワ	29.8%	カワヨシノボリ	15.2%	カワムツ	10.5%	イトモロコ	3.9%	ヒイラギ	3.2%
	九頭竜川	ウグイ	19.3%	オイカワ	12.9%	アブラハヤ	11.2%	カワムツ	9.5%	カマツカ	6.2%
	与保呂川 ※	オイカワ	40.9%	カワムツ	39.3%	シマヨシノボリ	7.2%	ヌマチチブ	3.6%	アユ	2.0%
	福田川 ※	カワムツ	51.3%	オイカワ	12.6%	シマドジョウ	12.3%	タモロコ	4.5%	マハゼ	3.0%
	大津川 ※	オイカワ	70.5%	カワムツ	11.0%	トウヨシノボリ	7.2%	メダカ	3.8%	ブルーギル	1.6%
	石津川 ※	モツゴ	54.8%	トウヨシノボリ	22.6%	マハゼ	12.9%	ギンブナ	9.7%	ー	0.0%
	富田川 ※	カワムツ	19.7%	ゴクラクハゼ	11.8%	ボラ	11.2%	カワヨシノボリ	11.2%	オイカワ	8.7%
	中国	天神川	カワムツ	31.7%	オイカワ	9.7%	アユ	9.5%	ドンコ	8.5%	イトモロコ
高梁川		オイカワ	18.9%	カワムツ	10.7%	カワヨシノボリ	9.8%	コウライモロコ	6.9%	カマツカ	4.1%
小瀬川		カマツカ	10.0%	オオヨシノボリ	10.0%	カワムツ	9.7%	フナ属	9.2%	ヌマチチブ	8.6%
四国	肱川	オイカワ	30.4%	カワムツ	10.4%	ボラ	7.9%	アユ	7.3%	ウグイ	7.2%
	遠賀川	オイカワ	36.8%	カワムツ	10.1%	カマツカ	7.1%	ギンブナ	3.7%	カタクチイワシ	3.6%
九州	山国川	オイカワ	20.9%	カワヨシノボリ	14.8%	ムギツク	12.1%	カワムツ	8.9%	ヒイラギ	5.0%
	筑後川	オイカワ	9.9%	カワムツ	9.5%	ヒラ	7.0%	ハゼ科	6.9%	コノシロ	5.4%
	松浦川	オイカワ	18.4%	ヒイラギ	13.5%	イトモロコ	11.8%	カワムツ	10.1%	トウヨシノボリ	6.8%
	五十鈴川 ※	オイカワ	27.1%	カワムツ	11.8%	タカハヤ	7.7%	カマツカ	6.5%	シマヨシノボリ	6.5%

注1) 頻度は、全捕獲個体数に対する各魚種の捕獲個体数の割合を示す。

注2) 水系名(河川名)欄の※は二級河川を示す。

注3) 水系名(河川名)欄の△は指定区間のみを河川を示す。

【サケの全国的な確認状況】

(魚類調査)

- サケが確認された最南（西）の河川は、日本海側では近畿地方の福田川、太平洋側では東北地方の名取川
河川でのシンボリック的存在である、サケが確認された河川を整理しました。
今回とりまとめを行った43河川において、サケの遡上が確認されたのは10河川でした。
(資料掲載: 1-14、1-54～1-57ページ)

確認河川数の比較

種類	1 巡目調査 (12 河川)	2 巡目調査 (31 河川)	3 巡目調査 (31 河川)	今回調査 (31 河川)
サケ	2 河川 [16.7%]	9 河川 [29.0%]	10 河川 [32.3%]	7 河川 [22.6%]

※確認河川数の比較は今回調査が実施された河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。

※1～3 巡目のデータは今回調査が行われた河川のうち、種名等について真正化され、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。

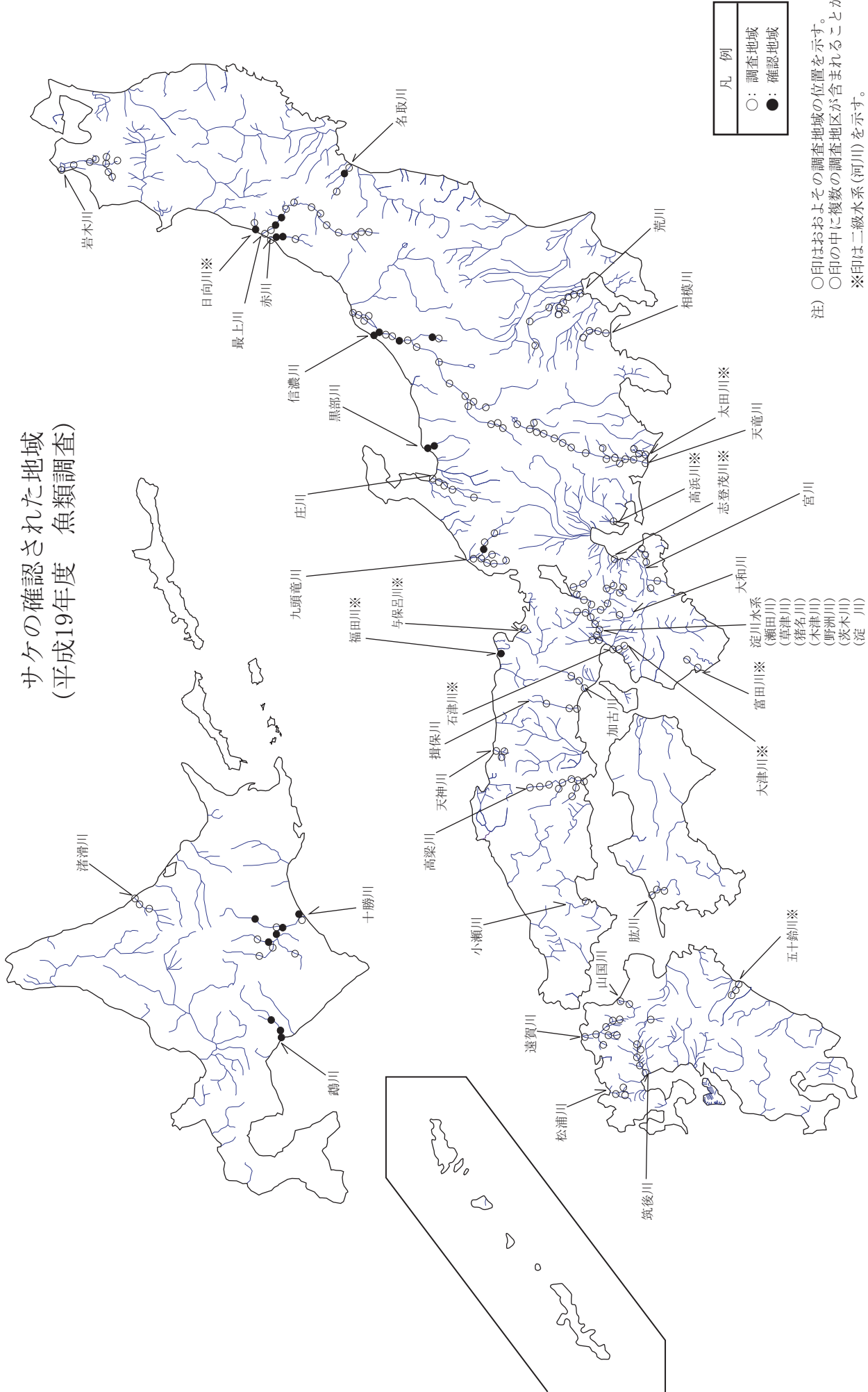
※ () 内は対象河川数を示す。

※ [] 内は確認河川数の対象河川数に対する%を示す。

食料資源として、また東日本の食文化を代表する魚種であるサケは、母川回帰（生まれた河川に帰って来る性質）を行うことから、河川でのシンボリック的存在としてとり上げられる種です。

今回の調査でサケの遡上が確認された最南（西）の河川は、日本海側では近畿地方の福田川、太平洋側では東北地方の名取川でした。また、日本海側に流れる河川では、九州北部でもしばしばサケが遡上していることが知られています。

サケの確認された地域 (平成19年度 魚類調査)



- **メダカを全国の 16 河川で 2 巡目調査から継続して確認**

身近な魚類であるメダカの確認状況を整理しました。

今回とりまとめを行った 43 河川をみると、メダカは東北地方以南の 34 河川で確認されました。また、メダカが 2 巡目調査から今回調査にかけて継続して確認された河川は 16 河川でした。
(資料掲載:1-16、1-54～1-57ページ)

確認河川数の比較

種類	1 巡目調査 (12 河川)	2 巡目調査 (31 河川)	3 巡目調査 (31 河川)	今回調査 (31 河川)
メダカ	4 河川 〔33.3%〕	19 河川 〔61.3%〕	21 河川 〔67.7%〕	26 河川 〔83.9%〕

※確認河川数の比較は今回調査が実施された河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。

※1～3 巡目のデータは今回調査が行われた河川のうち、種名等について真正化され、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。

※ () 内は対象河川数を示す。

※ [] 内は確認河川数の対象河川数に対する%を示す。

用水路などに生息するメダカは、身近な魚類として一般の人たちにもよく知られています。1999 年に環境庁が公表したレッドリストの中では、メダカが絶滅のおそれがある種（絶滅危惧Ⅱ類）として掲載され話題を呼びました。メダカが減少した原因については、農業用水路や河川がコンクリート張りにされたことや、蚊を駆除する目的で国外から導入されたカダヤシによる駆逐、水質の悪化などが考えられています。メダカの自然分布は、本州以南（西）となっていますが、近年移殖によって北海道地方にも生息するようです。また、各地で遺伝的な地域性を無視した移殖放流が行われています。

今回とりまとめを行った 43 河川をみると、メダカは東北地方以南の 34 河川で確認されました。2 巡目調査から今回の調査結果をみると、メダカの確認河川数の割合は増加しました。また、メダカが 2 巡目調査から今回調査にかけて継続して確認された河川は 16 河川でした。

これらの確認には、移殖による分布の拡大が含まれている可能性があり、今後モニタリングを継続していく必要があると考えられます。

- 全国の 25 河川でタビラクチ、ウキゴリ属 (エドハゼ、チクゼンハゼ、クボハゼ、ビリンゴ)、ヒメハゼ、いずれかの種を確認

河口域の干潟の環境特性を把握するための指標として、河口の干潟域を主な生息場所とするタビラクチ、ウキゴリ属 (エドハゼ、チクゼンハゼ、クボハゼ、ビリンゴ)、ヒメハゼの 6 種をとり上げ、確認状況を整理しました。

対象魚類としてとり上げた 6 種のいずれかが確認されたのは、今回とりまとめを行った 43 河川のうちの 25 河川でした。また前回から今回調査にかけての確認河川数は、タビラクチ、エドハゼ、ヒメハゼで増加する傾向がみられました。

(資料掲載: 1-19~1-24ページ、1-54~1-57ページ)

自然分布域内での確認河川数の比較

種類	1 巡目調査	2 巡目調査	3 巡目調査	今回調査
タビラクチ	0 河川 〔0%〕	0 河川 〔0%〕	1 河川 〔5.9%〕	2 河川 〔11.8%〕
エドハゼ	0 河川 〔0%〕	5 河川 〔23.8%〕	4 河川 〔19.0%〕	6 河川 〔28.6%〕
チクゼンハゼ	1 河川 〔8.3%〕	2 河川 〔6.5%〕	3 河川 〔9.7%〕	2 河川 〔6.5%〕
クボハゼ	1 河川 〔12.5%〕	2 河川 〔12.5%〕	3 河川 〔18.8%〕	3 河川 〔18.8%〕
ビリンゴ	4 河川 〔33.3%〕	11 河川 〔35.5%〕	11 河川 〔35.5%〕	9 河川 〔29.0%〕
ヒメハゼ	3 河川 〔27.3%〕	12 河川 〔48.0%〕	12 河川 〔48.0%〕	14 河川 〔56.0%〕

自然分布域内の対象河川数

種類	1 巡目調査	2 巡目調査	3 巡目調査	今回調査
タビラクチ	9 河川	17 河川	17 河川	17 河川
エドハゼ	9 河川	21 河川	21 河川	21 河川
チクゼンハゼ	12 河川	31 河川	31 河川	31 河川
クボハゼ	8 河川	16 河川	16 河川	16 河川
ビリンゴ	12 河川	31 河川	31 河川	31 河川
ヒメハゼ	11 河川	25 河川	25 河川	25 河川

※確認河川数の比較は今回調査が実施された河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。

※1~3 巡目のデータは今回調査が行われた河川のうち、種名等について真正化され、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。

※各種が潜在的に分布すると想定される河川を対象河川とした。

※〔 〕内は確認河川数の対象河川数に対する%を示す。

河口域の干潟の環境特性を把握するための指標として、河口の干潟域を主な生息場所とするタビラクチ、ウキゴリ属（エドハゼ、チクゼンハゼ、クボハゼ、ビリンゴ）、ヒメハゼの6種をとり上げ、確認状況を整理しました。

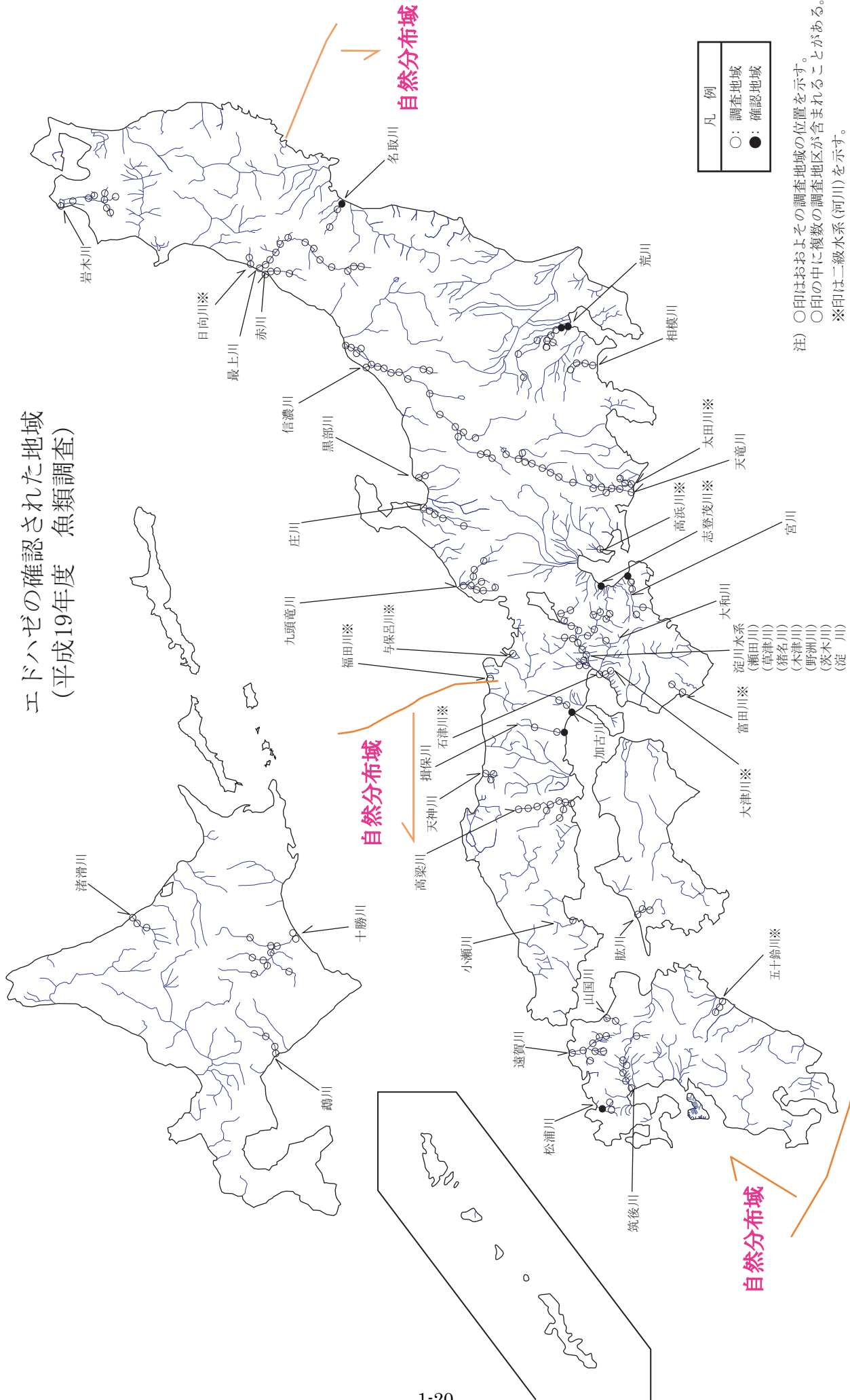
タビラクチは和歌山と兵庫以西に分布し、干潟や内湾の軟泥地に生息しています。また、エドハゼ、チクゼンハゼは東日本から九州までの広い範囲に分布し、河口域や汽水域に生息しています。クボハゼは西日本の河口域や汽水域にのみ生息しています。

ビリンゴは北海道、本州、四国、九州に分布し、川の感潮域や汽水湖の泥底から砂泥底に生息しています。また、ヒメハゼは宮城県・山形県以南の本州、四国、九州、琉球列島に分布し、河口域やそれに続く前浜干潟に生息しています。

対象魚類としてとり上げた6種のいずれかが確認されたのは、今回とりまとめを行った43河川のうちの25河川でした。また、前回から今回調査にかけて、これらの種の確認河川数の割合が増加する傾向がみられたのは、タビラクチ、エドハゼ、ヒメハゼでした。一方、減少する傾向がみられたのはチクゼンハゼ、ビリンゴ、変化がみられなかったのはクボハゼでした。

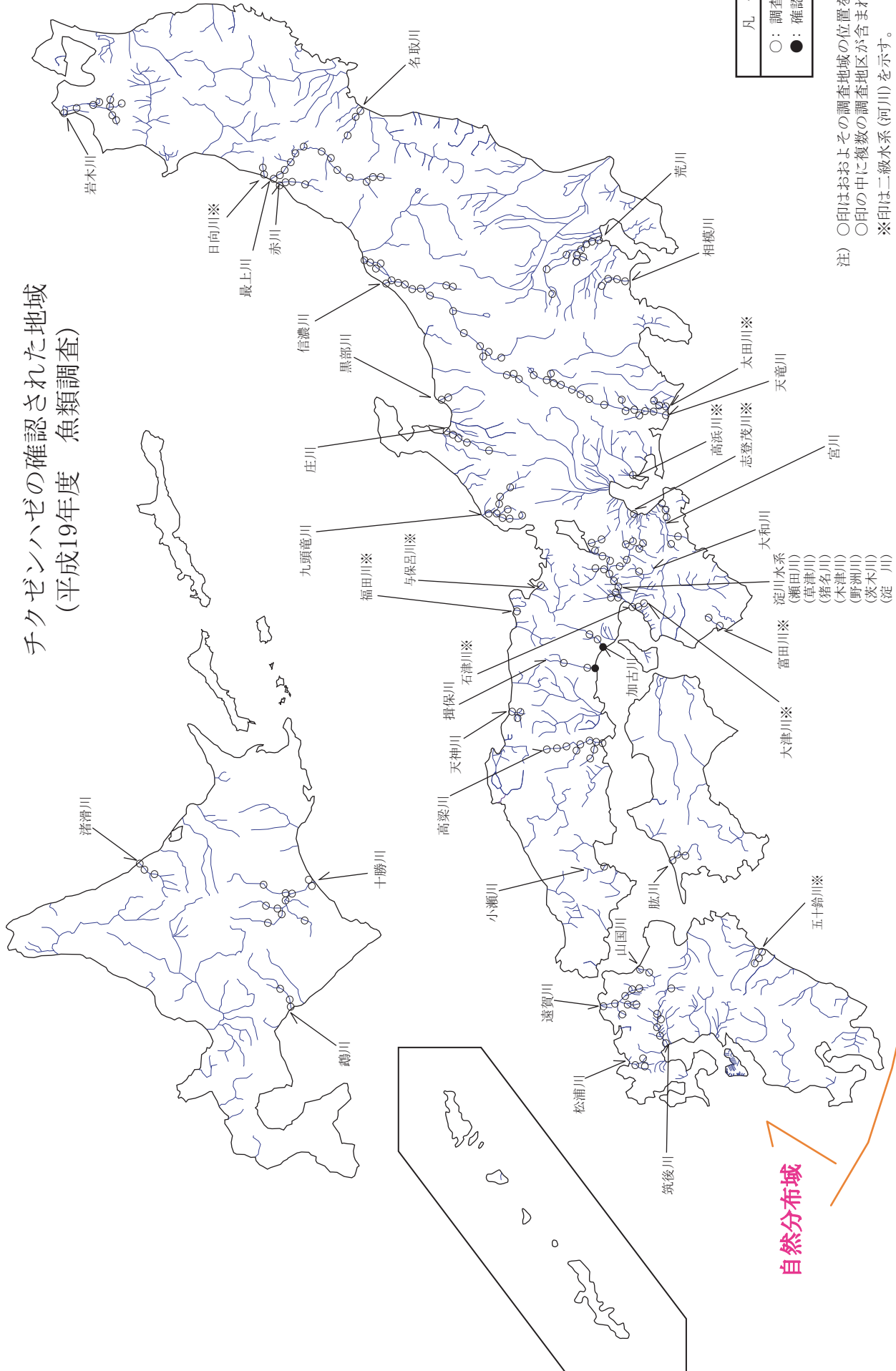
従って、今後ともこれら河口の自然環境との関わりが深い魚類の生息状況をモニタリングし、その動向をモニタリングしていく必要があると考えられます。

エドハゼの確認された地域 (平成19年度 魚類調査)



注) ○印はおおよその調査地域の位置を示す。
 ○印の中に複数の調査地区が含まれることがある。
 ※印は二級水系(河川)を示す。
 分布域は、以下の文献等による。
 ・日本産 魚類検索 全種の同定 第二版
 ・スクリーニング委員の指摘

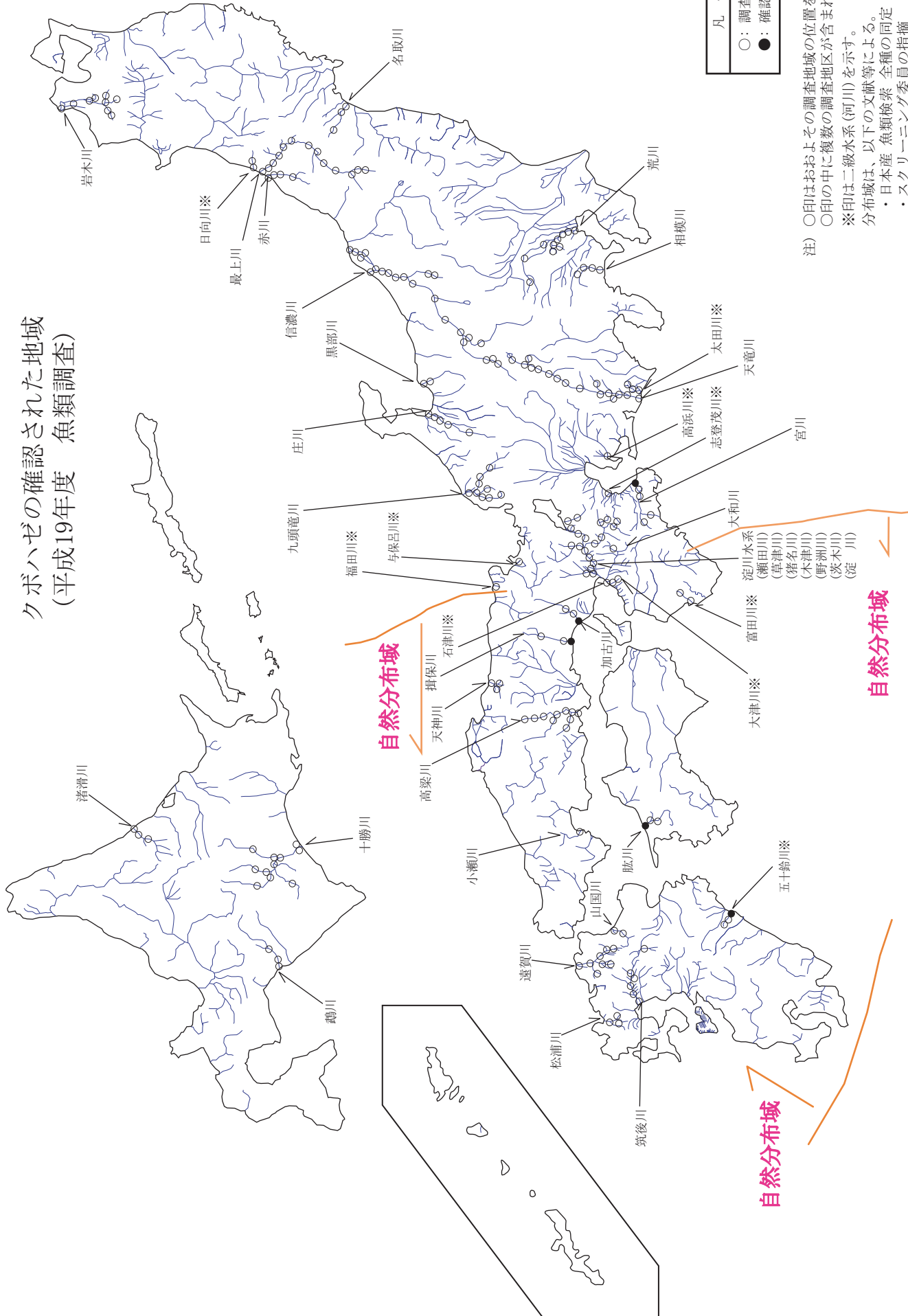
チクゼンハゼの確認された地域 (平成19年度 魚類調査)



(注) ○印はおおよその調査地域の位置を示す。
 ○印の中に複数の調査地区が含まれることがある。
 ※印は二級水系(河川)を示す。

自然分布域

クボハゼの確認された地域 (平成19年度 魚類調査)



凡 例	
○	調査地域
●	確認地域

(注) ○印はおおよそその調査地域の位置を示す。
 ○印の中に複数の調査地区が含まれることがある。
 ※印は二級水系(河川)を示す。
 分布域は、以下の文献等による。
 ・日本産 魚類検索 全種 第二版
 ・スクリーニング委員の指摘

- カマキリは 12 河川、カジカ中卵型は 4 河川、ウツセミカジカ(回遊型)は 6 河川で確認
 河川の連続性の指標として通し回遊魚のうち、カマキリ、カジカ中卵型、ウツセミカジ
 カ(回遊型)を対象として、縦断的な確認範囲を整理しました。
 今回とりまとめを行った 43 河川のうち、カマキリが確認されたのは 12 河川、カジカ
 中卵型が確認されたのは 4 河川、ウツセミカジカ(回遊型)が確認されたのは 6 河川でした。
 (資料掲載:1-26～1-28ページ、1-54～1-57ページ)

確認河川数の比較

種類	1 巡目調査 (12 河川)	2 巡目調査 (31 河川)	3 巡目調査 (31 河川)	今回調査 (31 河川)
カマキリ	4 河川 [33.3%]	8 河川 [25.8%]	9 河川 [29.0%]	10 河川 [32.3%]
カジカ中卵型	0 河川 [0%]	1 河川 [3.2%]	2 河川 [6.5%]	3 河川 [9.7%]
ウツセミカジカ (回遊型)	2 河川 [16.7%]	5 河川 [16.1%]	5 河川 [16.1%]	5 河川 [16.1%]

※確認河川数の比較は今回調査が実施された河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とし
た。

※1～3 巡目のデータは今回調査が行われた河川のうち、種名等について真正化され、河川環
境管理システムに格納されている調査データを対象にした。

※ () 内は対象河川数を示す。

※ [] 内は確認河川数の対象河川数に対する%を示す。

※カジカ中卵型、ウツセミカジカ (回遊型) は、以前は正確に同定されていない可能性があ
り、1 巡目、2 巡目の値は参考値と考えられる。

河川の連続性の指標として通し回遊魚のうち、カマキリ、カジカ中卵型、ウツセミカジカ(回遊
型)を対象として、確認範囲を縦断的に整理しました。

カマキリは、カジカ科カジカ属の日本の固有種で、神奈川・秋田両県以南の本州、四国、九州
に分布し、本州の日本海側に多く生息します。産卵は海の沿岸近くで行われ、孵化した仔魚は沿
岸で遊泳生活をした後、稚魚に成長して川を遡上します。

カジカ中卵型とウツセミカジカ(回遊型)は、下流域で産卵し、孵化した仔魚は海へ下り遊泳生活
をした後、川を遡上します。

カマキリは、今回とりまとめを行った 43 河川のうち 12 河川で確認されました。縦断的な確認
範囲を経年的にみると、東北地方の最上川では、遡上範囲が狭まる傾向がみられ、近畿地方の九
頭竜川では遡上範囲が広がる傾向がみられました。

カジカ中卵型は、今回とりまとめを行った 43 河川のうち 4 河川で確認されました。

ウツセミカジカ(回遊型)は、今回とりまとめを行った 43 河川のうち 6 河川で確認されました。
カマキリ、カジカ中卵型、ウツセミカジカ(回遊型)のような底生魚は、アユ等の遊泳魚と比較して、
階段式魚道や低い堰でも遡上を阻害されることが知られています。従って、今後とも河川の連続
性の指標として、その確認状況をモニタリングしていく必要があると考えられます。

カジカ中卵型の確認範囲

水系名	調査回	調査年度	調査区分	河口からの距離 (km)																総計
				0-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-60	60-70	70-80	80-90	90-100	100以上	
渚滑川	3	H15	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
鶴川	3	H15	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
十勝川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
岩木川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
名取川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
最上川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
赤川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
荒川	3	H15	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
相模川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
信濃川	3	H14	直轄							1										1
	4	H19	直轄	出現なし																0
黒部川	3	H15	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	1																1
庄川	3	H14	直轄	36	54		16		2											108
	4	H19	直轄	36			20													56
天竜川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
宮川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
淀川(瀬田川)	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
淀川(草津川)	3	H16	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
淀川(猪名川)	3	H17	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
淀川(木津川)	3	H16	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
淀川(野洲川)	3	H13	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
淀川(淀川)	3	H16	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
加古川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
揖保川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
九頭竜川	3	H15	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄				2	2	3											7
天神川	3	H15	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
高梁川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
小瀬川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
肱川	3	H15	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
遠賀川	3	H13	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
山国川	3	H14	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
筑後川	3	H13	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0
松浦川	3	H13	直轄	出現なし																0
	4	H19	直轄	出現なし																0

- 注1) 数値は出現個体数
 注2) 太線は最上流地区の距離範囲を示す。
 注3) 調査区分(直轄区分、指定区分)によっては、同一河川においても最上流地区の距離が異なる。
 注4) カジカ中卵型、ウツセミカジカ(回遊型)は、以前は正確に同定されていない可能性があり、1巡目、2巡目の値は参考値と考えられるため、表に表示していない。

ウツセミカジカ（回遊型）の確認範囲

水系名	調査回	調査年度	調査区分	河口からの距離 (km)														総計	
				0-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-60	60-70	70-80	80-90		90-100
渚滑川	3	H15	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
鶴川	3	H15	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
十勝川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
岩木川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
名取川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
最上川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
赤川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
荒川	3	H15	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
相模川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
信濃川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
黒部川	3	H15	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
庄川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
天竜川	3	H14	直轄	2			11		4										17
	4	H19	直轄	11			15		19										45
宮川	3	H14	直轄		4	21													25
	4	H19	直轄		6	13													19
淀川（瀬田川）	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
淀川（草津川）	3	H16	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
淀川（猪名川）	3	H17	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
淀川（木津川）	3	H16	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
淀川（野洲川）	3	H13	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
淀川（淀川）	3	H16	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
加古川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
揖保川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
九頭竜川	3	H15	直轄				9		14										23
	4	H19	直轄	出現なし															0
天神川	3	H15	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
高梁川	3	H14	直轄						6										6
	4	H19	直轄						18										18
小瀬川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄		1														1
肱川	3	H15	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
遠賀川	3	H13	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
山国川	3	H14	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
筑後川	3	H13	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0
松浦川	3	H13	直轄	出現なし															0
	4	H19	直轄	出現なし															0

注1) 数値は出現個体数
 注2) 太線は最上流地区の距離範囲を示す。
 注3) 調査区分(直轄区間、指定区間)によっては、同一河川においても最上流地区の距離が異なる。
 注4) カジカ中卵型、ウツセミカジカ(回遊型)は、以前は正確に同定されていない可能性があり、1巡目、2巡目の値は参考値と考えられるため、表に表示していない。